

.....

.....

.....

1

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                              |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 22 ]歳、 勤続年数[ 2 ]年、 現場経験年数[ 1 ] 年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[    ]歳、 勤続年数[    ]年、 現場経験年数[    ]年、 階級[    ]、<br>同様の活動 [    ]、 任務 [    ]  |
| ○当事者 C                 | 年齢[    ]歳、 勤続年数[    ]年、 現場経験年数[    ]年、 階級[    ]、<br>同様の活動 [    ]、 任務 [    ]  |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                              |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                   | その他・備考など    |
|-------|-------|-------------------------|-------------|
| 経過 1  | A     | 火災出動 (3 名)              |             |
| 経過 2  | A     | 現場到着 (直ちに中継体制をとる)       | (車長指示)      |
| 経過 3  | A     | 中継体制完了後、1 人で先ポンプからホース延長 | 放水活動 (車長指示) |
| 経過 4  | A     | 左足に熱さと痛みを感じる            |             |
| 経過 5  | A     | その後痛みを感じなくなり消火作業を継続     |             |
| 経過 6  | A     | 帰署後、防火靴を脱ぎ卵大の水疱を確認      |             |
| 経過 7  |       |                         |             |
| 経過 8  |       |                         |             |
| 経過 9  |       |                         |             |
| 経過 10 |       |                         |             |

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。        | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。             | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | はい  |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

経験の浅い職員等への安全教育、並びに上席者への現場安全管理・監督の徹底

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

出動全隊員へ保冷剤、飲料水の携行

○指揮・情報伝達の対策について

## 火災概要図

町道幅員4m

消防車

部分焼

非住家

車庫

部分焼

10.7m

農道幅員2m

A

全焼住家  
約300平方メートル  
木造一部2階建て

非住家

部分焼

非住家

ぼや

### 気象情報

|    |        |
|----|--------|
| 天候 | 晴れ     |
| 風向 | 南西     |
| 風速 | 0.6m/s |
| 気温 | 10.9℃  |
| 湿度 | 78%    |

### 被災状況

|     |   |     |
|-----|---|-----|
| 全焼  | 1 | 住家  |
| 部分焼 | 3 | 非住家 |
| ぼや  | 1 | 非住家 |

Aが負傷時着用していた防火靴には、破損・変形・変色等なし。

発災年月日 平成21年4月19日  
制 作 ○○消防本部警防課